

平成 23 年度事業報告書

(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

公益財団法人本庄国際奨学財団

事業報告書

(第16期：平成23年4月1日から平成24年3月31日)

概要

平成23年度は第11期から第15期までの奨学生58名、海外プログラムによる16名、研究助成金対象者3名に対して奨学金および研究助成金の支給を行った。昨年度に引き続き外国人の大学院留学生および日本人の国内大学院生と毎月1回の面接を行い、生活面におけるアドバイス等を行った。また、5月には当財団を卒業した奨学生による博士号取得論文の発表会を行い、6月には1泊2日で株式会社伊藤園相良工場及び中央研究所、浜岡荒茶工場、株式会社ホテイフーズコーポレーション富士川工場の研修旅行を行った。また、OB、OGとの交流を深めるためにOB、OGを講師に招いた講演会「HISF (Honjo International Scholarship Foundation) ワークショップ」のシリーズを開始し、7月と11月に第1回、第2回を開催した。12月には奨学生、研究助成金対象者、OB、OGとともに忘年会を開催した。前年度に東日本大震災のために延期された歓送迎会を9月に行い、平成24年3月には恒例の歓送迎会を開催した。

関西在住の奨学生に対しては、9月に株式会社伊藤園京都西支店において個別面談を行い、平成24年3月には第3回OB会で京都、大阪、神戸在住の奨学生とOB、OGによる交流を図った。

平成23年3月11日の東日本大震災は、多くの留学生に衝撃を与えることになったが、当時一時帰国したものの全員が1~2か月後には日本に戻り、研究を再開した。6月から8月にかけて留学生たちの呼びかけで有志の者が仙台と気仙沼で3回にわたってがれき処理や仮設住宅への援助物資のお届けなどのボランティア活動を行った。また、宮城県、福島県、岩手県にある5つの大学に対して、被災学生に対する奨学金のための義援金を贈った。

平成24年度第16期奨学生には外国人留学生1,094名、第7期日本人の国内大学院が341名、第3期若手研究者養成研究助成金に234名、合計1,669名の応募があった。選考委員会の厳正な書類審査と、最終面接審査を経て外国人留学生21名、日本人大大学院生5名、研究助成金11名、アメリカ国内での5つのプログラムによる採用10名、総合計47名の新規採用を行った。

平成23年度第15期海外留学日本人大大学院生の募集選考は、平成23年2月~平成23年4月に申請書受付、平成23年6月に面接選考、平成23年9月より奨学金を支給開始した。応募者223名、新規採用8名であった。

A 事業実績

平成 23 年度に実施した具体的事業は次のとおりである。

1. 奨学金支給事業

(1) 奨学金支給

平成 23 年 4 月から平成 24 年 3 月までに奨学生 58 名に対して 1 人当たり月額 15 万円から 20 万円の奨学金援助を行った。海外プログラムで選ばれた奨学生に対しては、各選考員会で決められた額（一プログラムあたり総額 240 万円）を支給した。＊平成 23 年度奨学生名簿(添付 1)を参照。

(2) 研究助成金の支給

平成 23 年 4 月に若手研究者養成研究助成金受賞者 3 名に対して研究助成金の支給を行った。＊平成 23 年度奨学生名簿（添付 1）を参照。

(3) 東日本大震災被災学生に対する奨学義援金

東日本大震災で被災した学生に対する奨学金のため、東北 3 県の大学に義援金を贈った。大学と金額は以下のとおりである。

東北大学 700 万円、福島大学 500 万円、福島県立医科大学 300 万円、岩手大学 500 万円、岩手医科大学 300 万円

(4) 個別面談等

毎月、財団法人本庄国際奨学財団の事務局において個別の面談を行い、奨学生から研究の進捗状況の報告を受け、生活上の心配事などの相談に乗りアドバイスをを行った。

音楽会への招待、スポーツ大会等の開催を通じ、奨学生同士の交流を深めるほか、ストレスの多い研究生活の余暇に有効利用できる機会を提供した。

(5) 研修旅行

① 株式会社伊藤園工場見学

株式会社伊藤園相良工場、中央研究所、浜岡工場、株式会社ホテイフーズコーポレーション富士川工場を見学し、茶葉の製造、飲料のボトリングを見学。

日時：平成 23 年 6 月 3 日（金曜日）～6 月 4 日（土曜日）

参加者：奨学生、財団職員合計約 20 名

② 京都研究旅行

古民家に宿泊し、狂言のワークショップ、大徳寺見学、映画村での殺陣ワークショップなどの伝統文化体験を行った。

日時：平成 23 年 9 月 17 日（土曜日）～9 月 19 日（月曜日）

場所：株式会社庵にて文化研修、町屋に宿泊。東映太秦映画村訪問。

参加者：奨学生、財団職員合計約 30 名

(6) OB会、交流会等の開催

これまで行ってきた歓送迎会、忘年会等の交流会に加え、平成23年度より新しい事業としてHISFワークショップのシリーズを開始した。主旨はOB、OGを講師に招いた講演会とし、様々な分野で専門外の人にも興味をもてるテーマを取り上げ、講演と質疑応答、懇親会を行う中で交流を深めることである。

① 博士論文発表会

平成22年度卒業生による博士論文発表会を開催した。

日時：平成23年5月15日(日曜日)午後1時～午後6時

場所：ハイアットリージェンシー東京「飛鳥」

参加者：奨学生、OB、OG、財団役職員合計約50名

② 第1回HISFワークショップ

日時：平成23年7月3日(日曜日)午後3時～午後6時

場所：ザ・キャピトルホテル東急「桐の間」

講演テーマ：「環境問題と科学 - 生物多様性の議論と科学と社会の対話 -」

講師：香坂怜（名古屋市立大学大学院経済学部准教授、第4期生）

参加者：財団のOB、OG、奨学生、財団役職員、株式会社伊藤園社員、一般聴講者など合計約60名

③ 歓送迎会

日時：平成23年9月27日（火曜日）

場所：ハイアットリージェンシー東京「エクセレンス」

参加者：奨学生、OB、OG、その家族、財団役職員合計約80名

④ 第2回HISFワークショップ

日時：平成23年11月20日(日曜日)午後3時～午後6時

場所：ザ・キャピトルホテル東急「桐の間」

講演テーマ：「権威主義体制と大衆運動 - エジプトの事例から -」

講師：ホサム ダルウィシュ（アジア経済研究所地域研究センター中東研究グループ研究員、第10期生）

参加者：財団のOB、OG、奨学生、財団役職員、株式会社伊藤園社員、一般聴講者など合計約60名

⑤ 忘年会

日時：平成23年12月28日(火曜日)午後5時～午後7時

場所：ハイアットリージェンシー東京

参加者：奨学生、OB、OG、その家族、財団役職員合計約100名

⑥ 第2回関西OB会

日時：平成24年3月17日(土曜日)午後6時～午後8時

場所：株式会社庵 和泉屋町町屋

参加者：関西在住の OB、OG、奨学生、財団職員合計 12 名

⑦ 歓送迎会

日時：平成 24 年 3 月 28 日(水曜日)午後 5 時～午後 7 時

場所：ハイアットリージェンシー東京

参加者：奨学生、OB、OG、その家族、財団役職員合計約 80 名

⑧ 東日本大震災復興ボランティア活動

奨学生及び OB、OG の呼びかけにより、日帰りまたは 1 泊 2 日のボランティア活動に参加し、がれき処理、仮設住宅への援助物資配送などを行った。

・仙台

日時：平成 23 年 6 月 5 日(日曜日)

参加者：奨学生、OB,OG 約 10 名

・気仙沼（1）

日時：平成 23 年 7 月 23 日(土曜日)～24 日(日曜日)

参加者：奨学生、OB,OG、財団職員、株式会社伊藤園および株式会社グレートアイランド倶楽部社員合計約 20 名

・気仙沼（2）

日時：平成 23 年 8 月 20 日(土曜日)～21 日(日曜日)

参加者：奨学生、OB,OG、財団職員、株式会社伊藤園および株式会社グレートアイランド倶楽部社員合計約 30 名

(6) 募集・選考

① 平成 23 年度第 15 期海外留学日本人大学院生奨学金プログラム

i) 日程

・平成 23 年 1 月 1 日

ホームページに募集要項掲載

・平成 23 年 2 月 1 日～平成 23 年 4 月 30 日

申請書受付

・平成 23 年 5 月 1 日～平成 23 年 6 月 20 日

第一次書類選考

・平成 23 年 6 月 24 日

第二次面接選考および最終選考会議

・平成 23 年 9 月 5 日

理事会および評議員会において最終選考結果を承認

ii) 応募状況および選考結果

応募者総数 : 223 名

選考結果 : 平成 23 年度海外留学日本人奨学金最終選考合格者一覧（添付

2) を参照。

② 平成 24 年度第 16 期外国人留学生奨学金、第 7 期国内日本人大学生奨学金、および第 3 期若手研究者養成研究助成金プログラム

i) 日程

・平成 23 年 9 月 1 日

ホームページに募集要項掲載および主な大学、国立研究所等へ募集要項を配布

・平成 23 年 10 月 1 日～平成 23 年 11 月 30 日

申請書受付。

・平成 23 年 11 月 22 日

選考委員会開催。議案「平成 23 年度採用方針」

・平成 23 年 12 月 1 日～平成 24 年 1 月 31 日

第 1 次書類選考。

・平成 24 年 2 月 6 日～平成 24 年 2 月 14 日

第 2 次面接選考および最終選考委員会

・平成 24 年 3 月 12 日

理事会および評議員会において最終選考結果を承認

・平成 24 年 3 月 31 日

ホームページに最終結果を発表

ii) 応募状況および選考結果

応募者総数 : 1,669 名 (外国人 1,094 名、日本人 341 名、助成金 234 名)

選考結果 : 平成 24 年度外国人留学生、国内日本人大学院生、若手研究者養成研究助成金最終選考合格者 (添付 3) を参照。

B 処務の概要

1. 会議

(1) 第 1 回理事会

開催日 : 平成 23 年 5 月 24 日 (火曜日) 午後 4 時 00 分～午後 5 時 00 分

開催地 : 株式会社伊藤園役員会議室

出席者 : 理事および監事全員

議長 : 理事長 本庄照子

議案 : 1. 平成 22 年度事業報告書及び収支決算書承認の件

原案どおり可決承認された。

2. 平成 23 年度株式会社伊藤園株主総会における議決権行使の件

原案どおり可決承認された。

3. 平成 20 年 12 月 1 日施行の公益法人制度への方向性について
原案どおり可決承認された。
4. 奨学資金積立金規程の一部修正の件
原案どおり可決承認された。
5. 若手研究者養成研究助成金卒業生枠新設の件
原案どおり可決承認された。
6. 外国人奨学生諸費用援助の件
原案どおり可決承認された。
7. 東日本大震災義援金の件
原案どおり可決承認された。
8. 理事会議事録署名人選任の件
「議長一任」で可決されたので、議長が野村恭也氏、本庄八郎氏の
2 名を議事録署名人として指名し可決承認された。

(2) 第 2 回理事会

開催日：平成 23 年 9 月 5 日（月曜日）午後 6 時 00 分～午後 6 時 30 分

開催地：ザ・キャピトルホテル東急「桐の間」

出席者：理事および監事全員

議 長：理事長 本庄照子

議 案：1. 移行認定後の公益財団法人における定款変更の案及び諸規定の承認
の件

原案どおり可決承認された。

2. 移行認定後の公益財団法人における評議員候補者の推薦決議の件

原案どおり可決承認された。

3. 移行認定の申請書類の承認の件

原案どおり可決承認された。

4. 奨学資金積立金取り崩しの件

原案どおり可決承認された。

5. 第 15 期海外留学日本人奨学生選考結果承認の件

原案どおり可決承認された。

6. 議事録署名人選任の件

「議長一任」で可決されたので、議長が小淵優子氏、本庄八郎氏の
2 名を議事録署名人として指名し可決承認された。

(3) 第 3 回理事会

開催日：平成 24 年 3 月 12 日（月曜日）午後 6 時 00 分～午後 6 時 30 分

開催地：ザ・キャピトルホテル東急「桐の間」

出席者：理事および監事全員

議長：理事長 本庄照子

議案：1. 平成24年度事業計画案及び収支予算書案承認の件

原案どおり可決承認された。

2. 平成24年度(第16期)奨学生選考結果承認の件

原案どおり可決承認された。

3. 平成24年度株式会社伊藤園株主総会における議決権行使の件

原案どおり可決承認された。

4. 平成24年度定時評議員会の招集に関する件

原案どおり可決承認された。

5. 議事録署名人選任の件

「議長一任」で可決されたので、議長が野村恭也氏、本庄八郎氏の
2名を議事録署名人として指名し可決承認された。

報告事項 1. 公益財団法人への移行について

2. 平成23年度卒業生の報告

(4) 第1回評議員会

開催日：平成23年5月24日(火曜日)午後3時00分～午後4時00分

開催地：株式会社伊藤園10階役員会議室

出席者：評議員全員

議長：河野宏氏

議案：1. 平成22年度事業報告書及び収支決算書承認の件

原案どおり可決承認された。

2. 平成23年度株式会社伊藤園株主総会における議決権行使の件

原案どおり可決承認された。

3. 平成20年12月1日施行の公益法人制度への方向性について

原案どおり可決承認された。

4. 奨学資金積立金規程の一部修正の件

原案どおり可決承認された。

5. 若手研究者養成研究助成金卒業生枠新設の件

原案どおり可決承認された。

6. 外国人奨学生諸費用援助の件

原案どおり可決承認された。

7. 東日本大震災義援金の件

原案どおり可決承認された。

8. 評議員会議事録署名人選任の件

「議長一任」で可決されたので、議長が岡本平次氏、村田博文氏の
2名を議事録署名人として指名し可決承認された。

(5) 第2回評議員会

開催日：平成23年9月5日（月曜日）午後5時00分～午後5時41分

開催地：ザ・キャピトルホテル東急「桐の間」

出席者：評議員全員

議長：河野宏氏

議案：1. 移行認定後の公益財団法人における定款変更の案及び諸規定の承認
の件

原案どおり可決承認された。

2. 移行認定後の公益財団法人における理事及び監事の選任の件

原案どおり可決承認された。

3. 移行認定の申請書類の承認の件

原案どおり可決承認された。

4. 奨学資金積立金取り崩しの件

原案どおり可決承認された。

5. 第15期海外留学日本人奨学生選考結果承認の件

原案どおり可決承認された。

6. 議事録署名人選任の件

「議長一任」で可決されたので、議長が村田博文氏、本庄竜介氏の
2名を議事録署名人として指名し可決承認された。

(6) 第3回評議員会

開催日：平成24年3月12日（月曜日）午後5時00分～午後5時30分

開催地：ザ・キャピトルホテル東急「桐の間」

出席者：評議員全員

議長：本庄大介氏

議案：1. 平成24年度事業計画案及び収支予算書案承認の件

原案どおり可決承認された。

2. 平成24年度(第16期)奨学生選考結果承認の件

原案どおり可決承認された。

3. 平成24年度株式会社伊藤園株主総会における議決権行使の件

原案どおり可決承認された。

4. 議事録署名人選任の件

「議長一任」で可決されたので、議長が河野宏氏、岡本平次氏の
2名を議事録署名人として指名し可決承認された。

報告事項 1. 公益財団法人への移行について

2. 平成 23 年度卒業生の報告

(7) 第 1 回奨学生選考委員会

開催日：平成 23 年 6 月 24 日(金曜日) 午前 11 時 30 分～午後 12 時 30 分

開催地：財団法人本庄国際奨学財団事務局会議室

出席者：選考委員全員

議題：平成 23 年度(第 15 期)海外留学日本人大学院生奨学生選考の件

平成 23 年度海外留学日本人最終選考合格者名簿（添付 2）のとおり合格
者が決定された。

(8) 第 2 回奨学生選考委員会

開催日：平成 23 年 11 月 22 日（火曜日）午後 6 時 00 分～午後 8 時 00 分

開催地：ザ・キャピトルホテル東急「橘の間」

出席者：竹尾忠一氏を除く 4 名の選考委員

評議員 本庄周介、評議員 本庄竜介

事務局長 竹村勉、河島伊都子

議 題：平成 24 年度（第 16 期）奨学生および研究助成金対象者選考方針の件
議案どおり可決承認された。

(9) 第 3 回奨学生選考委員会

開催日：平成 24 年 2 月 14 日（火曜日）午後 4 時 00 分～午後 5 時 00 分

開催地：株式会社伊藤園 11F 社長室

出席者：選考委員全員

議 題：平成 24 年度(第 16 期生)外国人留学生および国内日本人大学院生奨学生
選考の件

平成 24 年度奨学生および研究助成金最終選考合格者名簿（添付 3）の
とおり合格者が決定された。

(10) 第 1 回最初の評議員の選定委員会

開催日：平成 23 年 5 月 24 日（火曜日）午後 6 時 00 分～午後 8 時 00 分

開催地：ザ・キャピトルホテル東急「桐の間」

出席者：本庄大介、小田順一、高安健将、山内利宏、竹村勉

議 題：1. 議長の選出の件

互選により本庄大介を議長に選出した。

2. 最初の評議員選出の件

議案通り可決承認された。

(11) 第2回最初の評議員の選定委員会

開催日：平成23年9月12日（月曜日）午後6時00分～午後7時00分

開催地：株式会社伊藤園役員会議室

出席者：本庄大介、小田順一、高安健将、山内利宏、竹村勉

議 題：1. 議長の選出の件

互選により本庄大介を議長に選出した。

2. 最初の評議員選出の件

議案通り可決承認された。

C 登記

東京法務局渋谷出張所に対し、次の登記を行った。

- (1) 平成23年6月27日 任期満了による理事の重任の登記ならびに理事岡田茂氏死亡の登記
- (2) 平成24年1月30日 理事堀越克明氏死亡の登記

D 届出および申請

文部科学大臣に対し、次の届出および申請を行った。

- (1) 平成23年5月16日 最初の評議員の選任に関する理事の定め認可の申請
- (2) 平成23年6月27日 平成22年度事業報告書および収支決算書の届出
- (3) 平成23年6月30日 変更登記の届出
- (4) 平成23年9月27日 実地検査の結果に対する回答
- (5) 平成24年2月17日 変更登記の届出
- (6) 平成24年3月28日 平成24年度事業計画書および収支予算書の届出

内閣府に対し、次の申請をおこなった。

- (1) 平成23年10月25日 公益財団法人への移行認定の申請

E 寄附金

平成23年度に受け入れた寄附金はありません。

以上